

国立和歌山病院での実習を終えて



前田 祐希

二日間の実習で地元の病院ということでとても楽しみにしていました。

和歌山県での唯一の結核病棟を持つ病院で副院長がとても詳しく教えてくれました。また実際に結核病棟に入ったり、N-95マスクをつけてみたりさせてもらいました。僕は正直病棟に入ってうつたりしたらどうしようとか思っていました。けど、そのところもちゃんとセミナーで正してもらいました。

また院長のレントゲンの読影セミナーはとても分かりやすく、今まで避けがちだったレントゲンも見てみようかなと思えるようになりました。セミナーでもとても考えさせられまったく眠くなる間もありませんでした。

食事でも研修医の方二名と院長でとても有意義な時間を過ごさせていただきました。これからはもっと地元である御坊のことをもっと知っておくべきだなとも思いました。

二日間という短い間でしたが院長、副院長それにスタッフの皆さんには大変お世話になりました。